



SAP Ariba 

機能の概要

Document Approval API を新しいバージョンで見直し

Andy Rubinson, SAP Ariba
一般提供予定: 2021 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Document Approval API を新しいバージョンで見直し

今までの課題

SAP Ariba がお客様に公開している各種 API には、以下の整合性がありません。

- API の呼び出し方法
- クエリパラメータの使用
- フィルタリング
- エラー書式
- ページネーション

これにより、お客様が API を使用および導入するのが困難になっていました。

SAP Ariba で問題解決

Document Approval API の新しいバージョンでは、以前のバージョンの公開以降に開発された多くのベストプラクティスが実装されます。

新しいバージョンの改善には、更新されたページネーションや、クエリプロセスがより簡単に REST に準拠するように設計されたさまざまな構文変更が含まれます。

主なメリット

API が以下に従うようになります。

- ページネーションガイドライン
- 命名の一貫性
- エンドポイントの変更
- 構造およびセマンティクスの変更

これらの変更により、Document Approval API がすべての SAP API と整合するようになり、お客様とパートナーがこの API を使用するのが容易になります。

対象ソリューション

SAP Ariba APIs
SAP Ariba Developer Portal
SAP Ariba Buying
SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Invoice Management

関連情報

この機能は、該当するソリューションを導入しているすべてのお客様に対して自動的に有効化されており、すぐに使用できるようになっています。

前提条件と制限事項

この機能に関連する SAP Ariba APIs を使用するためにアプリケーションを作成してアクセス権を依頼するには、SAP Ariba Developer Portal にアクセスする必要があります。詳細については、*SAP Ariba Developer Portal* のヘルプで「APIs の使用を開始する手順」を参照してください。

Document Approval API を使用するには、請求書、購入申請、またはその両方を追跡するように購買ソリューションを設定する必要があります。また、委任および再割り当ての変更を追跡することもできます。詳細については、「[Document Approval \(ドキュメント承認\) API を使用するための購買ソリューションを設定する方法](#)」を参照してください。

機能の概要

説明: Document Approval API を新しいバージョンで見直し

機能の詳細情報

Document Approval API のバージョン 2 では、複数のパラメータの名前が変更され、エンドポイントおよびパラメータ関連の構文がさまざまな方法で変更されるため、お客様は以前のバージョンのパラメータを使用している API を変更する必要があります。完全な一覧については、[ドキュメント](#)を参照してください。

\$count

コレクションに含まれる要素の数が応答とともに返されるかどうかを制御します。このパラメータが true の場合、コレクション自体が含まれる応答の一部として、返された申請データを囲む値フィールドと並列にインラインで数が返されます。

\$filter

このパラメータの使用はエンドポイントによって異なりますが、常に結果セットがフィルタリングされます。\$filter の使用に関する詳細は、各エンドポイントの例で提供されます。

\$skip

ページネーションで使用される、結果セットの先頭からのオフセットです。

\$stop

応答で返されるレコードの最大数。これは、ページネーション目的で \$skip と組み合わせて使用できます。たとえば、\$stop が 10 で結果セットに 100 件のレコードが含まれている場合、応答には最初の 10 件のレコードが含まれます。結果セットのレコードの次のセットを取得するには、\$skip が 10 の新しいクエリを送信します。その次のページでは \$skip が 20 などとなります。

Version 1 Parameter	Version 2 Parameter
documentType	<code>\$filter=approvalType eq '{requisitions invoices}'</code>
limit	<code>\$top</code>
offset	<code>\$skip</code>
lastChangeId	<code>\$filter=changeSequenceId gt '{ID}'</code>
needTotal	<code>\$count</code>
user	<code>\$filter=user eq '{ID}'</code>

機能の概要

説明: Document Approval API を新しいバージョンで見直し

エンドポイント

- この API ではパラメータと構文が大幅に変更されましたが、注意が必要な特定のエンドポイントの変更があります。
- V1 での申請の処理の場合、POST 呼び出しを使用して、コメント付きの承認/拒否メッセージを送信していました。
- バージョン 2 でこれと同じ処理を行うには、スクリーンショットに示されているように PATCH 呼び出しを使用します。
- エンドポイントの完全な一覧については、[ドキュメント](#)を参照してください。

The screenshot shows an API client interface with the following details:

- Method: PATCH
- URL: `https://openapi.ariba.com/api/approval/v2/prod/requisitions/QUVHS0FTZ0NGYTVHSGw?user=arooney&passwordAdapter=PasswordAdapter1&realm=p2pTeSg`
- Body Type: raw (selected)
- Body Content (JSON):

```
1 {
2   "state": "approve",
3   "comment": {
4     "text": "L3 Mgmt Approved",
5     "visibleToSupplier": "false"
6   }
7 }
```

PATCH `/{approvablType}/{approvableId}`
の両方)。

指定された申請の状況を変更するか、またはコメントを追加します (もしくはその

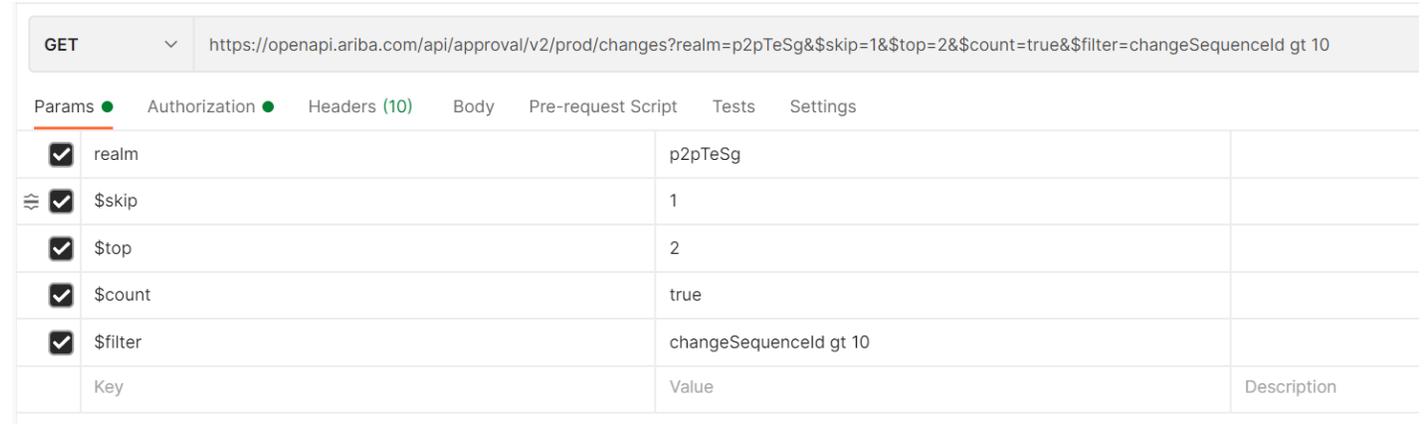
機能の概要

説明: Document Approval API を新しいバージョンで見直し

Postman を使用した V2 のスクリーンショット例

- これらの例では、バージョン 2 のパラメータ/構文を使用して更新された呼び出しを示しています。
- 注: スクリーンショット例では米国のデータセンターを使用しています。実行時 URL は適宜変更してください。

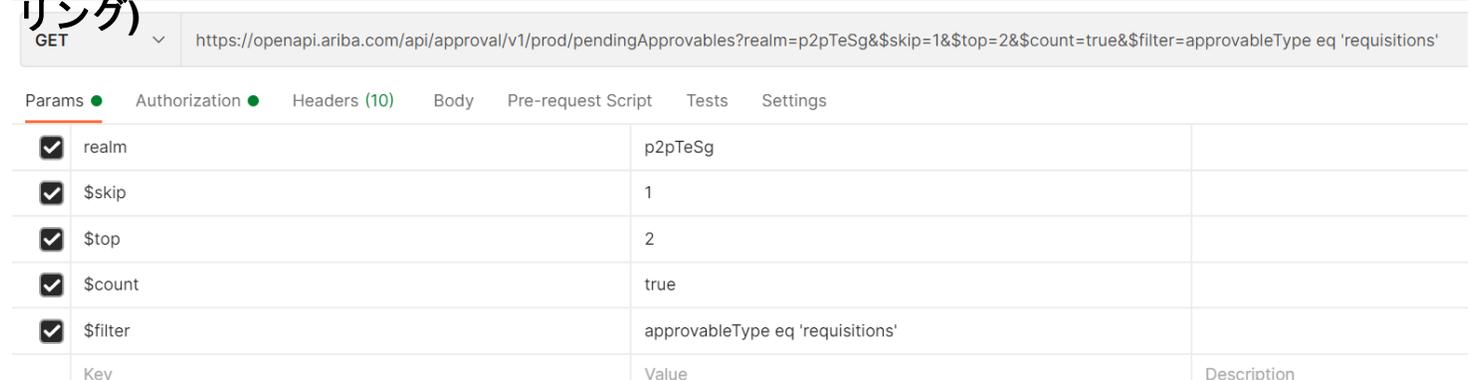
更新されたパラメータを使用した /changes エンドポイント



The screenshot shows a GET request in Postman to the endpoint `https://openapi.ariba.com/api/approval/v2/prod/changes?realm=p2pTeSg&$skip=1&$top=2&$count=true&$filter=changeSequenceld gt 10`. The parameters are listed in a table below:

Key	Value	Description
<input checked="" type="checkbox"/> realm	p2pTeSg	
<input checked="" type="checkbox"/> \$skip	1	
<input checked="" type="checkbox"/> \$top	2	
<input checked="" type="checkbox"/> \$count	true	
<input checked="" type="checkbox"/> \$filter	changeSequenceld gt 10	

更新されたパラメータを使用した /pendingapprovals エンドポイント (購入申請でフィルタリング)



The screenshot shows a GET request in Postman to the endpoint `https://openapi.ariba.com/api/approval/v1/prod/pendingApprovals?realm=p2pTeSg&$skip=1&$top=2&$count=true&$filter=approvableType eq 'requisitions'`. The parameters are listed in a table below:

Key	Value	Description
<input checked="" type="checkbox"/> realm	p2pTeSg	
<input checked="" type="checkbox"/> \$skip	1	
<input checked="" type="checkbox"/> \$top	2	
<input checked="" type="checkbox"/> \$count	true	
<input checked="" type="checkbox"/> \$filter	approvableType eq 'requisitions'	

機能の概要

説明: Document Approval API を新しいバージョンで見直し

エラーメッセージの変更

- バージョン 2 では、データ呼び出しで発生したエラーを理解しやすくするために、エラーメッセージをさらに変更しています。
- ユーザー操作性を改善するため、エラーメッセージが更新され、より直感的でわかりやすいメッセージが表示されるようになりました。

HTTP Code	Response Code	Message	Additional Information
400	approvableTypeMismatch	Approvable type is not matching	The query URL specifies one approvable type, but the approvable ID is for an approvable of a different type.
400	approvableTypeMissing	Approvable type is missing	The query does not specify what type of approvable is relevant. Possibilities are invoice and requisition.
400	badRequest	Malformed syntax or bad query	Check your query for typos and other syntax errors.
400	badRequest	Unrecognized field in request body	The request body refers to one or more invalid fields.
400	changeSequenceIdNotNumeric	changeSequenceId parameter needs to be numeric	Make sure the value of the changeSequenceId attribute is numeric.
400	contentTypeIncorrect	Content-Type supported is 'application/json'	The only supported value for the Content-Type header is 'application/json'.
400	countNotBoolean	\$count parameter needs to be boolean	Make sure the \$count parameter is boolean.
400	invalidApprovableType	Invalid approvable type requested	The query requests an approvable of an unsupported type.
400	invalidEnumValue	Invalid enum value in request body	Check the spelling and accuracy of enumerated values in the request body.
400	invalidRealm	realm parameter is either invalid or does not exist	Make sure the realm parameter accurately specifies your site.